



「令和5年度 宇溪会 ボッカトレ&懇親会&総会」

開催日: 2023年4月8日~9日

レポート 内野繁樹

(総会レポ: 黒須悠輔)

人生最後の瞬間を迎える時、私はきっとこの日のことを思い出すだろう。

多くの人にとってはおそらく特別な意味を持つことはないであろう令和5年4月8日は、私にとってそう思わせるほど大きな意味のある一日となった。

唐突で大変恐縮ですが、令和5年度より入会させていただくこととなりました内野繁樹です。アウトドア的な経験では、溪流でのフライフィッシング歴が5年ほどになります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、冒頭で何かとお思いになった方もいらっしゃるかと思いますが、宇都宮溪遊会への入会をかれこれ4年間ほど悩んでいた私にとって、今回の入会への第一歩は非常に、非常に重たいものでした。悩んでいた理由は「人見知り」だからです…。まあ、悩んでいてもどんどん歳をとってしまうし、娘ももう高校生だし、WBCで日本も優勝したし…と、最後はほとんど理由にならない理由で自分自身を奮い立たせ、本宮さんへ入会希望のメールを送らせていただきました。すると、すぐに返信があり、週末にボッカトレと新年度の総会がちょうどあるので参加してみないかとのお誘いを受けました。ここで躊躇してはいけないと思い即座に参加の意向を伝えると、土曜日にボッカトレを行い、その後キャンプ場で懇親会があり、ほぼ夜通し飲んでそのままキャンプ場で寝て日曜の朝から総会というスケジュールとのこと。「なんてタフなんだ…。」と心の中で呟いた。あいにく日曜日は予定があったので今回は土曜日のボッカトレのみの参加でお願いしますと返信。その後しばらくしてから来たメールの内容に目を疑った。なんと、ボッカトレの前日の金曜日の夜からキャンプ場で前夜祭をやるので来ませんか、とのこと。「常軌を逸している…。」と心の中ではなく、口に出して呟いた。金曜の夜から飲んで、土曜の朝からボッカトレを行い、その後ほぼ夜通し飲んで日曜の朝から総会か…。とは言え、イベントに積極的にお誘いいただき親睦を深める機会を提案いただいていることを嬉しく思い、こんな感じで面倒見の良い方たちが多いのだろうなあ、と好印象を抱いた。しかし、非常に残念ではあったが仕事柄4月の前半はいろいろと忙しいため今回は土曜の朝からの参加とさせていただきますとメールを返信した。

当日、遅れてはいけないと思い集合時間の一時間前に最寄りのコンビニに到着し朝食をとって時間を潰していた。集合時間が近づくにつれて次第に緊張が高まり、そろそろ行くかと時計を見ると集合時間まであと15分となっていたため急いで出発。集合場所に到着すると何やらそれっぽい集団が目に入る。緊張しながら本宮さんに電話すると「緑の服を着ています！」と、それっぽい集団の中に手をあげている方を発見。少し、いや大分話が逸れるが、私にとって本宮さんはテレビの中の芸能人のような存在だ。私が宇都宮溪遊会を知ったのは4年前に見た釣りビジョンの番組で、宇都宮溪遊会の会員の方々による朝日連峰の源流部への釣行に密着したものだ。その番組で見た宇都宮溪遊会の活動内容に衝撃を受け、その後4年間宇都宮溪遊会のことが私の頭から離れられなくなったのである。その時出演されていた会員の中で、何故だか本宮さんの印象が今でも強く残っている。おそらく赤いTシャツを着て目立っていたからかもしれない…。あと、釣り場選びの参考としていたつり人社から出ている「いい川」というつり場ガイドの本で本宮さんがいくつか

の川を解説されていたのを覚えていた。なぜ覚えていたかということ、本宮さんが紹介している川は「私なら 10 メートルのロープを持っていく」、「林道を 2 時間ほど歩くと…」、「4m の直瀑の滝を越えなければならない」「F1 と呼ばれる直登不能な滝があるが…」など、私のようなウェーダーを着たフライマンがおよそたどり着けないようなつり場ばかりを紹介されていたからだと思う。とにかく、本宮さんを目の前にしたときに、六本木ヒルズの地下駐車場で HUMMER に乗り込む直前の長淵剛に握手をしてもらった時の次くらいの興奮を覚えた。



朝の集合風景。緊張のあまり引きつり笑いで自己紹介をする私(左から 2 番目の青い服)。

話を一気に戻します。結局 5 分前くらいに到着したが、もうほとんどの方が到着していたようだった。時間になり簡単に自己紹介をと言われたので、実に簡単に自己紹介をしたような気がする。正直緊張していて頭が真っ白だったので内容は覚えていない。そして 8 時にポッカトレがスタートし、古賀志山への登山が開始となった。予定では 14 時に下山完了とのこと。登山の途中ではいろいろな方に気を使って話しかけていただき、「あの新人はだれ？」という好奇の目にさらされながら一人で黙々と登山しているということになってしまうのではないかという、朝のコンビニで時間を潰している時に抱いていた不安は幸いなことに杞憂に終わった。いろいろな話をしながら登山道を歩いていると、突然会員の方が次々と藪に突っ込んでいった。「気でも触れたのか？」と思った。しかし、一步山に足を踏み入れたら十分起こりうる話だとも考えた。私はオカルト好きで、山怪(田中康弘/ヤマケイ文庫)は全 4 巻読破しているため、その読書で得た知見から狐憑きの可能性を疑った。しかし、実際はなんとコシアブラを見つけて砂糖に群がる蟻のごとく方々に散っていったということだった。正直、私にとってはすべて同じ葉っぱにしか見えず、こんな山でいとも簡単に藪の中から山菜を見つけ出すこの人たちはやはり本物なのだ！という感動を覚えた。そうこうしているうちにあっという間にビニール袋いっぱいのコシアブラが収穫されていた。夜の親睦会で天ぷらとコシアブラご飯が振舞われるらしい。楽しみだなあ…。



コシアブラ(ウコギ科コシアブラ属)。山菜の女王と呼ばれるだけあり美しい佇まい。



しばしの休憩。根本氏のザックが四角い理由を後に理解することとなる。

その後もコシアブラ採取のため終始脇道に逸れて藪を漕ぎつつ、どうにか山頂に到着した。古賀志山の標高は 582.8 m とのこと、それほど高くはないものの、山頂から見下ろす景色は予想外になかなかのものだった。ふと、時計に目を落

とすと時刻は 10 時を少し回っていた。ん？10 時？確か下山完了時刻は 14 時と言っていたな…。少しお昼休憩をとったとしても、帰りは下りだし、山菜は既にある程度の量を収穫できているようだから、どう見積もっても少し早めの 13 時過ぎには下山できそうだなと思った。が、そう思った直後に目に入ってきた光景に、下山予定時刻が 14 時であることを理解した。まず、根本氏のザックからクーラーボックスが取り出された。どうりでザックが四角かった訳ですね…。その後、そのクーラーボックスから卵、キクラゲその他の食材、調味料が取り出され、また、ザックからはガスバーナーが取り出され、根本氏による古賀志山山頂での調理が開始されたのである。その時ふとした疑問が頭をかすめた。クーラーボックスというものは、主に屋外において冷たいものが時間の経過に伴い外気温に近づいてしまうことを防止するための文明の利器と理解している。まだ 4 月の上旬で気温はそれほど高くはない訳だし、外気温による食材の痛みはほぼないはずなのになぜ重たいクーラーボックスをわざわざザックに仕込んできたのだろうか？その答えは根本氏の左手にあった。右手で調理のための菜箸を動かしつつ、左手には銀色の缶がしっかりと握られていた。山頂で冷えた麦酒を飲むためだけのクーラーボックスだったのか…。その後、古賀志山という平和な山の山頂で、朝の 10 時過ぎから山頂で調理された手料理による本気度の高い酒盛りが行われるという異様な光景が繰り広げられ、次から次へと山頂に到着する一般登山者の好奇の目にさらされることとなった。しかし、そんな中でお裾分けをいただいて食べたキクラゲと卵の炒め物は本当に美味しかったな…。



古賀志山山頂からの風景。



山頂での酒盛り風景。



山頂での酒盛りを見守る会員達。

穏やかな春の日の古賀志山山頂での酒盛りを満喫して下山を開始したのは大体 12 時くらいだろうか。その後は順調に下山、という訳には当然いかず、下山途中でも皆さん全力で山菜を採取されていたため、下山完了時刻は概ね予定時刻の 14 時近くだったと思う。この後の懇親会にも参加させていただき、この日に収穫したコシアブラの天ぷら、コシアブラご飯をいただいたが、実に衝撃的な美味しさだった。特に初めて見る特別な器具で炊かれたコシアブラご飯のいままで

口にすることがない美味しさに感動を覚えた。また、コシアブラ以外にもワカサギの天ぷら、コシアブラ以外の山菜を使った料理や自作のイノシシ、シカ肉の缶詰め、その他にも多くの方々が数々の自作の料理を持ち寄ってきていた。本当に皆さん料理上手でどれもこれもが美味しくて感動しっぱなしだった。皆さん、本当にどうもありがとうございました。私も今後何かの折にお返しさせていただければと思います。



新入会員として挨拶をする私



同じく新入会員の國分さん(一番左)



見たことのない器具で炊飯されるコシアブラご飯。 もはや味についての説明は不要。写真からも香ってきそうだ。



皆さんが持ち寄った料理(写真以外にも多数)。缶詰って個人で作るものなのでしょうか？

こうして緊張から始まり、様々な衝撃的な光景を目の当たりにした一日だったが、新参者の私のことを皆さんが気にかけて温かく接してくれたことが本当に嬉しかったです。おかげ様で親睦会が始まるころには緊張もすっかり解けて場を楽し

むことができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。今この文章を書きながら、皆さんと一緒に宇都宮溪遊会での釣行で見たことのない景色を見て、出会ったことのない魚に出会うことが本当に楽しみで期待に胸を膨らませています。これからどうぞよろしくお願いいたします。



ボッカトレでの記念写真

【総会】(レポート:黒須悠輔)

翌朝、総会会場に移動し今年度の役員選出・行事計画など、総会での話し合いが行われた。

新たに役員として事務局長に石綱さん、副事務局長に本宮さん、事務局に橋本さん、情報宣伝担当に本宮さん、白井さん、備品管理者に岩戸さんが任命された。他役員は留任となり今年度のスタートと相成った。

総会の中で、昨年入会の伊藤道大さん、佐藤雄飛さん、今年入会の國分繁宣さん、内野繁樹さんの紹介が行われた。

(佐藤さん、内野さんは都合により総会欠席)

また情報宣伝担当の白井さんから、今以上に宇溪会の認知を広げていくため、

昨年から広報活動に使用している宇溪会の公式 Instagram ↓ の紹介がなされた。

[\(https://www.instagram.com/utsunomiya_keiyukai/\)](https://www.instagram.com/utsunomiya_keiyukai/)

みなさま、フォローお待ちしております！！(>_<)



総会の様子1



総会の様子2



齊藤会長と石網事務局長と事務局の橋本さん



会計のこずえさん



監査役の矢萩さん



事務局の橋本さん



会員から意見・質問が出る場面が多く見られた



昨年入会の伊藤道大さん



今年入会の國分繁宣さん



情報宣伝担当の白井さん

宇溪会の公式 Instagram ↓ を運営、フォローお待ちしております！！(^)/
源流釣りや山菜キノコなどの疑問・質問いつでもどうぞ！

https://www.instagram.com/utsunomiya_keiyukai/